2026 年 8 月 1 日作成（第 1.0 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 9 月

福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座　岡部　直行

■ 研究課題名

前縦隔腫瘍に対するロボット手術の有用性の検討

■ 研究期間

2026 年 10 月　～　2027 年 8 月

■ 研究の目的・意義

前縦隔腫瘍は比較的稀な病気です。その中でも頻度の多い胸腺上皮性腫瘍（胸腺腫・胸腺癌）は，治療をしないと致死的となる悪性腫瘍です。外科手術が治療の基本となりますが、縦隔は左右の肺・胸骨・大動脈もしくは心臓に囲まれた空間であるため、以前は胸骨正中切開などによる侵襲の大きな手術アプローチが必須でした。近年、前縦隔腫瘍に対するロボット支援下胸部手術（robot-assisted thoracic surgery: RATS）が 2018 年に保険収載され、3D の視野とロボットアームによる細かな操作を特徴とし、縦隔の狭小空間において有用とされています。一方で術式ごとの比較と臨床的有意性、予後は十分に検証されていないため、意味のある研究と考えます。

■ 研究対象となる方

2011 年 1 月から 2026 年 3 月の期間に福島県立医科大学附属病院において前縦隔腫瘍摘出術を施行された患者様

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から下記のような臨床病理学的因子、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

〈収集される臨床所見〉

年齢，性別，喫煙歴，既往歴，CT 所見，FDG-PET 所見(腫瘍への FDG 集積(SUVmax))，

MRI，手術日，術式，合併切除の有無，臨床病期，腫瘍径，腫瘍組織型，周囲浸潤の有無，血管浸潤の有無，リンパ節転移の有無，再発診断日，再発巣，術後放射線治療の有無，再発後治療の有無，有害事象，病勢進行判定日，死亡イベント発生日

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 11 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学呼吸器外科学講座であり、研究責任者は呼吸器外科学講座　岡部直行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

予定はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また，試料・情報がこの研究に利用されることについて，研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295　福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座　担当：山口　光

電話：024-547-1252　　FAX：024-548-2735-

e-mail：hikaru-y@fmu.ac.jp